

金沢大学創基 150 年記念事業「講演会・シンポジウム」シリーズ 市民公開講座(金沢国際がん生物学シンポジウム・日本分子生物学会第 11 回春季シンポジウム)を開催

2011 年 5 月 26 日

5月25日～26日の両日、石川県立音楽堂 交流ホールにおいて、がんの基礎的並びに臨床的研究の一層の発展を目的とし、毎年がん研究所が主催となっていて行っている「金沢国際がん生物学シンポジウム」を開催しました。

今回のシンポジウムは「分子生物学の明日－金沢シンフォニー」と題し、日本分子生物学会第11回春季シンポジウムを兼ねており、日本分子生物学会の招待講演者を中心に、シンガポール、オーストラリア、韓国を含む国内外の世界的にも著名な研究者をシンポジストとして迎え、2日間で延べ743人(1日目:355人 2日目:388人)が参加し、先端的ながん研究に関する最新の研究成果について活発な質疑応答や意見交換が行われました。

また、本シンポジウムは大学院医学系研究科の博士課程共通科目、理工学域自然システム学類生物学コースの授業科目として認定されており、大学院生・学生も2日間で延べ164人(1日目:83人 2日目:81人)が参加し、ポスター会場においては、積極的に発表者に質問する光景が見られる等、分子生物学に対して理解を深める絶好の機会となりました。



がん研 高橋 智聡 教授



Frontier Science Organization, Kanazawa Univ.
Dr. Richard Wong



特別企画 OEK 弦楽四重奏
司会: がん研 大島 浩子 助教



閉会挨拶
がん研 平尾 敦 教授



シンポ会場



ポスター会場

